

2021年度 総合型選抜入学試験2期【オーラル・プレゼンテーション型】要項

1 募集学科および募集人員(1期・2期合わせて)

文学部

現代英語学科 11名
児童教育学科
〈児童教育専攻〉 11名
〈幼児保育専攻〉 18名
文化交流学科 11名

生活科学部

心理福祉学科 15名
食物健康科学科 16名

看護学部

看護学科 10名

経営学部

経営学科 8名

社会人については、全学部学科専攻ともに若干名募集。

2 出願資格

2021年4月1日現在満18歳以上で、次の(1)から(3)の条件をすべて満たす者。

(1) 次のいずれかに該当する者。

現役高校生・過年度卒業生(2021年4月1日現在満23歳以下)

●高等学校または中等教育学校を卒業した者および2021年3月卒業見込みの者。

※ただし、通信制高等学校にあっては、2020年度中に卒業または卒業見込みの者を含む。

●通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2021年3月修了見込みの者。

社会人(24歳以上)2021年4月1日現在満24歳以上であり、かつ

●高等学校または中等教育学校を卒業した者。

●通常の課程による12年の学校教育を修了した者。

(2) 出願する際の基準

現役高校生は、出願時に高等学校が出し得る最新の成績(第1学年から高等学校が出し得る最新の学期の成績まで)、過年度卒業生・社会人は高等学校修了時の成績が、全学部学科専攻ともに全体の学習成績の状況(評定平均値)が、3.0以上の者。

廃校その他の理由により、高等学校修了時の成績が証明できない場合は、個人所有の成績通知表をもって、全体の評定平均値が3.0以上の者であると判断する。

(3) 各学科(専攻)の「アドミッション・ポリシー」の趣旨にそう者。

3 選抜方法

志望理由書、オーラル・プレゼンテーション(口頭発表)、本学で実施する面接試験、および調査書を総合して合格者を決定します。

4 併 願

他大学等との併願を認めます。

本学総合型選抜入学試験2期の入学手続(学費延納手続含む)をした場合、本学他試験区分への出願はできません。

5 出願上の注意

18ページを参照してください。

6 出願方法

(1)「入学試験出願の方法」(20～21ページ)を参照してください。

(2)郵送(簡易書留)を原則とします。

出願書類は、Web出願システムから宛名ラベルをプリントアウト・貼付した角2封筒(24cm×33.2cm)を使用し郵送・提出してください。

プリントアウトできない場合は、下記を角2封筒(24cm×33.2cm)に手書きし郵送・提出してください。

提出先(送付先) 〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-11-1

茨城キリスト教大学 入試広報部

(3)出願期間 **2020年11月24日(火)～12月4日(金)〈窓口・郵送必着〉**

出願登録は最終日16時30分までとなります。

窓口受付は9時～16時30分までとなります。(ただし、土曜日午後、日曜祝日は除きます)

※11月26日(木)窓口受付できません。

(4)入学検定料支払期間 **2020年11月24日(火)～12月4日(金)**

入学検定料支払は最終日16時30分までとなります。

7 出願書類

出願期間内に下記の書類を一括して提出してください。

(1)出願確認票(Web出願システムからプリントアウト)

(2)出身学校調査書 1通(開封厳禁、出願期間開始3ヶ月以内に発行のもの)

廃校その他の理由により出身学校長の調査書が得られない場合は卒業証明書、成績表その他入学志願者が提出できる書類をもって代えることができます。

(3)志望理由書①②(本学受験生サイトからプリントアウト)

(4)写真 1枚(4cm×3cm、出願前3ヶ月以内に撮影、正面上半身脱帽、無背景)

志望理由書①に貼付してください。

8 入学検定料

32,000円(Web出願による検定料支払の際、別途手数料が必要となります。)

「入学試験出願の方法」(20～21ページ)を参照してください。

9 受験票交付

出願締切後、本学所定の受験票(郵便ハガキサイズ)を郵送します。試験日前日までに不着の場合は、入試広報部までご連絡ください。

10 試験会場

本学試験場〔JR常磐線大甕^{おおみか}駅西口(学園口)隣接〕

81ページを参照してください。

11 試験日

2020年12月12日(土)

12 試験時間割

集合・面接試験の時間については、個別に指示します。

※試験場は、午前8時15分に開場となります。

※面接試験の集合時間は受験票に記入されている時間とします。

13 受験上の注意

19ページを参照してください。

14 合格発表

合格発表日 2020年12月16日(水)

- (1)合格者には、合格通知書および入学手続書類を送付します。本学での書類の直接交付は行いません。
- (2)合否について出身学校長に送付します。(既卒者を除く)
- (3)合格発表日午前11時、インターネットによる「合否照会システム」を利用し、合否結果を確認することができます。「合否照会システム」については、68～69ページをご覧ください。
- (4)入試広報部への電話などによる合否についての問い合わせには一切応じません。

15 入学手続期間

2020年12月17日(木)～12月24日(木)〈窓口・郵送必着〉

窓口受付は9時～16時30分までとなります。(ただし、土曜日午後、日曜祝日は除きます)

75～76ページを参照してください。

16 学費延納期限

2021年3月29日(月)〈窓口・郵送必着〉

17 入学前教育プログラム

入学手続者(学費延納手続含む)は、入学までに本学で実施する入学前教育プログラムへ参加することとなります。日程・内容等の詳細は、合格通知書送付時に、お知らせいたします。概略は、74ページを参照してください。

18 新入生特待制度

入学予定者は、本学『新入生特待制度』を利用することができます。利用を希望する場合は、73ページを参照してください。

19 2期課題

□オーラル・プレゼンテーションについて

各学科(専攻)別の指定課題にしたがって、オーラル・プレゼンテーションを3～5分程度行い、その後、志望理由書①②に記入された内容を基にした面接試験を実施します。

※志望理由書①②は **本学公式サイト** ▶ **受験生サイト** からプリントアウトしてください。

プレゼンテーションは、パワーポイント等による投影発表や資料の掲示はできません。原則、口頭による発表とします。当日、配布資料がある場合は、資料に志望学科・氏名を記入し、3部用意してください。

□学科専攻別課題

●現代英語学科

“Do you think the internet is a valuable tool for learning English? Please explain your opinion using at least three reasons with examples.”というテーマに沿ってプレゼンテーションしてください。プレゼンテーションでは、原稿のほか、ハンドアウトや画用紙、写真は使用できます(ただし黒板に貼ることはできません)。プレゼンテーションはできるだけ英語で行ってください。また、面接ではプレゼンテーションの内容等について英語でも質問があります。

●児童教育学科(児童教育専攻・幼児保育専攻共通)

「乳幼児または児童」に関連する新聞記事を選び、その内容に対する自分の考えをプレゼンテーションしてください。記事は2020年4月以降のものに限ります。また、関連する記事を複数選択しても構いません。

プレゼンテーションでは、A4用紙2ページ以内の配布資料を使用することができます。試験当日は、選択した新聞記事のコピーおよび配布資料(使用の場合のみ)を各3部提出してください。なお、配布資料は両面印刷としてください。

●文化交流学科

次の課題A、Bからひとつ選び、口頭で発表してください(発表用メモの使用を認めます。資料を配布する場合はA4用紙1枚、片面のみとすること)。

A：異文化交流の機会がますます増えています。日本に暮らす私たちにとって、異文化交流にはどのような意義があるのでしょうか。あなたのこれまでの経験などをふまえて考えを述べてください。

B：茨城県の地域活性化のためにさまざまな取り組みがなされています。あなたが大学に入学したあと、「地域活性化のために学生の自分にできること」は何でしょうか。具体的に説明してください。

●心理福祉学科

老老介護の現状を簡潔に説明し、あなたが考えた老老介護の問題への対応策を考えなさい(発表用メモの使用を認めます)。

●食物健康科学科

「①減塩、②食育、③食品ロス、④日本型食生活」の中から1つ選んで、各自で設定したテーマに沿ってプレゼンテーションしてください。ただし、プレゼンテーションの方法については原則口述とします。発表中は、メモ用紙を見ることができます。また、面接担当者に資料を配布することができます(A4用紙2枚程度、両面可)。

●看護学科

看護職において「学び続ける」意味とはどのようなことですか。あなたの考えを述べてください。発表の内容をまとめたもの(A4用紙1枚、片面のみ)を、試験当日3部準備してください。発表中はメモを見ることができます。

●経営学科

同じ地域で暮らす住民の交流や地域活動は、地域における課題の早期発見とその解決、地域活性化につながります。しかしながら、人口減少・少子高齢化の進行、個人意識の多様化により、地域活動に参加している人数は減りつづけ、とくに年齢の若い人の参加率が低く【表1】、将来、地域コミュニティの弱体化が懸念されます。若い人たちは「参加していない」理由に「活動内容がよくわからない」「自分の生活で精一杯である」「活動費など経済的負担ができない」「活動内容がつまらない」をあげています。

そこで、「地域に対する親しみを育むために必要なこと」を聞いたアンケート調査結果【表2】や、自分自身の経験および収集資料を参考にして、若い人たちが主体的かつ継続的に取り組める地域活動を提案してください。なお、面接当日、用意したメモを見ながら発表しても構いません。

【表1】日立市における地域活動への関心および参加の有無(平成30年4月)

	関心がある		関心がない		参加している		参加していない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	参加率	回答数	不参加率
18歳以上20歳未満	0	0.0%	2	100%	0	0.0%	2	100%
20歳代	13	43.3%	17	56.7%	4	13.3%	26	86.7%
30歳代	24	61.5%	15	38.5%	11	28.2%	28	71.8%
40歳代	29	35.8%	51	63.0%	27	33.8%	53	66.3%
50歳代	33	44.0%	42	56.0%	25	33.3%	50	66.7%
60歳代	70	57.4%	51	41.8%	50	41.0%	72	59.0%
70歳代以上	92	45.8%	98	48.8%	91	45.3%	107	53.2%
計	261		276		208		338	

注：年齢別の無回答者数は省略した。

出典：「日立市地域福祉推進計画2019」に基づいて作成。

【表2】地域に対する親しみを育むために必要な事項

事 項	割合
子どもたちが地域について学習する機会	12.8%
学校単位や職場単位で地域活動やボランティア活動に取り組む機会	10.6%
大人が地域のことを学ぶことができる機会	9.9%
地域の人々が交流できる機会(子どもから高齢者まで、障害の有無にかかわらず)	19.9%
地域の人々による支え合いの大切さを広く知らせること	15.5%
地域の課題をみんなで話し合う機会	11.9%
家庭内で地域について話をする事	5.0%
分からない	6.5%
特になし	5.9%
その他	0.5%
無回答	1.5%

注：回答者1,222名、複数回答(3つまでを選択)。

出典：【表1】に同じ。